

■複層塗材の上塗り

| 工 程 | 材 料 | 調合割合 | 所要量 | 塗回数 | 間隔時間 | | 施工用具 | |
|-----|--------|--|---|--|------|---------------|--------|----------------------|
| | | | | | 工程内 | 工程間 | | |
| 1 | 下地調整 | | 下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エフロレッセンスは完全に除去し、含有率10%以下（pH10以下）に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどはダイヤカチオンフィラー、ダイヤセメントフィラー、またはセメンシヤス # 2000等で平滑に補修して下さい。 | | | | | |
| 2 | 下塗り | ダイヤワイドシーラー 無希釈 | 15kg | 0.10～0.15kg/m ² 100～150m ² /缶 | 1 | — | 2時間以上 | 刷毛 中毛ローラー エアレス |
| 3 | 主材吹き | ダイヤエボンE1液型 清水 | 20kg 0～0.4% | 1.3～1.5kg/m ² 14～16m ² /缶 | 1 | — | 24時間以上 | タイルガン |
| (4) | (凸部処理) | 主材吹き後、20分以内に硬化プラスチックローラーに塗料用シンナーをつけながら軽く押える。(押さえ模様の場合のみ) | | | | | | |
| 5 | 上塗り | ダイヤ1液ナチュラルウレタン ダイヤシンナーN スプレー 刷毛・ローラー | 15kg 1～2% 0～1% | 0.25～0.35kg/m ² 42～60m ² /缶 | 2 | 3時間以上 | — | 刷毛 中毛ローラー エアレス |
| 5 | 上塗り | ダイヤナチュラルウレタン A液 B液 ダイヤシンナーN スプレー 刷毛・ローラー | 12kg 2kg 1～2% 0～1% | 0.25～0.35kg/m ² 40～56m ² /セット | 2 | 3時間以上 7日以内 | — | 刷毛 中毛ローラー エアレス |

■弾性主材仕様

| 工 程 | 材 料 | 調合割合 | 所要量 | 塗回数 | 間隔時間 | | 施工用具 | |
|-----|------|---|---|--|------|---------------|------|----------------------|
| | | | | | 工程内 | 工程間 | | |
| 1 | 下地調整 | | 下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エフロレッセンスは完全に除去し、含有率10%以下（pH10以下）に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどはダイヤカチオンフィラー、ダイヤセメントフィラー、またはセメンシヤス # 2000等で平滑に補修して下さい。 | | | | | |
| 2 | 主 材 | 弾性主材の標準仕様により塗装して下さい。 | | | | | | |
| 3 | 上塗り | ダイヤナチュラルウレタンD A液 B液 ダイヤシンナーN スプレー 刷毛・ローラー | 12kg 2kg 1～2% 0～1% | 0.25～0.35kg/m ² 40～56m ² /セット | 2 | 3時間以上 7日以内 | — | 刷毛 中毛ローラー エアレス |

※間隔時間は、標準状態（23℃、50%RH）の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。
※所要量は下地の形状・状態により変動します。

■適応下地

コンクリート（打ち放し面、合板型枠面、メタルフォーム面、PCパネル面）、
モルタル（ケ引き面、コテ押し面）、ALCパネル※1、
コンクリートブロック※2、石膏ボード・石膏プラスボード、
繊維強化セメント板、押出成形セメント板※3

※1印＝ダイヤカチオンフィラー処理
※2印＝ダイヤガンコシーラー等の溶剤系下塗材
※3印＝ダイヤガンコシーラー、ダイヤシーラーエボ等の反応硬化型下塗材
*改修・金属下地等は各営業所にご相談下さい。

■包装単位

ダイヤワイドシーラー ……………15kg缶
 ダイヤアクレスフィラー ……………16kg缶
 ダイヤハスイエボサビ # 100 …… 15kg缶
 ダイヤハスイエボサビ # 200 A ……16kg（A液：14.4kg/B液：1.6kg）セット
 ダイヤシンナーN ……………16%缶
 ダイヤ1液ナチュラルウレタン ……15kg缶
 ダイヤナチュラルウレタン ……………14kg(A液：12kg/B液：2kg) セット
 ダイヤナチュラルウレタンD ……………14kg(A液：12kg/B液：2kg) セット

■施工・管理上の注意

【塗装面の調整（新設）】
 ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レタス等を完全に除去して下さい。
 ②セメント質下地は、表面の含水率10%以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
 ③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
 ④PCパネル、現場打ちコンクリートの場合
 1)豆板、木コシ、破損箇所、不陸などは、セメントフィラー、セメンシヤス#2000、セメンシヤス#2500、リマメル#70等の下地調整材を使用し、補修して平滑にして下さい。
 2)表面が緻密でレイタンス層がある場合は、レイタンスを除去し、ダイヤガンコシーラー又は、ダイヤシーラーエボをご使用して下さい。
 ⑤ ALCパネルの場合
 ダイヤカチオンフィラーを塗布して下さい。
 【塗装面の調整（改修・改修共通）】
 ①壁・防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分に適切な処置をして下さい。
 ②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、フリド等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
 【塗装面の調整（改修）】
 ①各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理（ケレン、清掃、高圧水洗浄）などを行って下さい。
 ②脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
 ③チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
 【材料の保管・管理】
 ①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
 ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、室内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
 ③下記の製品は危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。
 ダイヤハスイエボサビ # 100、ダイヤハスイエボサビ # 200A、ダイヤシンナーN、ダイヤ1液ナチュラルウレタン、ダイヤナチュラルウレタン、ダイヤナチュラルウレタンD
 【空気中の水分と反応しますので一度開封した塗料は、長期保存が出来ません。ご注意ください。】
 【施工】
 ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）を発生して下さい。
 ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りません。成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
 ③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行わない。施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残り、りりとなります。
 ④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。

⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
 ⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
 ⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
 ⑧施工後24時間以上経過後、雨、霜害等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
 ⑨本施工に入る前に試験塗りをし、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
 ⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合は、希釈量は少なめに希釈して下さい。
 ⑪常に結露が発生する場合は、湿度・時期での施工は避けて下さい。
 ⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
 ⑬一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
 ⑭塗装下地の差によって、塗布量が異なる場合があります。
 ⑮フッ素や無機系などの難接着塗膜処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の際は最寄の営業所へご相談下さい。
 ⑯可成り時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
 ⑰使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
 ⑱濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。
 ⑳下地の吸込みムラにより色のムラが発生する場合があります。
 ㉑シーラーと上塗りを混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
 ㉒上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
 ㉓既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には高圧水洗後にはダイヤガンコシーラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
 【安全衛生上の注意】
 ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
 ②取扱後は、手洗い及びびがいを十分に行って下さい。
 ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
 ④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
 ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
 ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
 ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
 ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 【その他】
 ①その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
 ②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
 ③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社と統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

(23.8月現在) 23.08. 400 SJ

DIA

ダイヤ ナチュラルウレタンシリーズ

1液弱溶剤形セラミック変性ウレタン樹脂塗料

ダイヤ1液ナチュラルウレタン

超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドウレタン樹脂塗料

ダイヤナチュラルウレタン

超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドウレタン樹脂塗料(弾性)

ダイヤナチュラルウレタンD

安全性

耐汚染型

防カビ

ダイヤナチュラルウレタンシリーズ

ダイヤ1液ナチュラルウレタン 1液弱溶剤形セラミック変性ウレタン樹脂塗料
ダイヤナチュラルウレタン 超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドウレタン樹脂塗料
ダイヤナチュラルウレタンD 超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドウレタン樹脂塗料(弾性)

特殊薬剤の配合により、カビに対して強い抵抗力を発揮。下地や既存塗膜種類に係わらず、一般外壁から鉄部塗装まで広範囲な用途に優れた耐候性を実現する弱溶剤系の塗料です。旧塗膜に対する適用性が広くシーラー不要で直接施工できるケースが多いので、新築はもとより塗替えにも最適で工期の短縮が図れ、コストダウンにも貢献します。

低汚染

セラミック成分とウレタン樹脂成分とをハイブリッド化させることにより耐汚染性に優れた塗膜表面を形成、長期にわたり美観を守ります。

防カビ

塗膜に防カビ性を付与させていますので外壁面のカビを抑制するとともにカビによる塗膜の劣化を防ぎます。

鉛フリー

鉛を使用していないため環境に優しく安全性に優れています。

耐候型

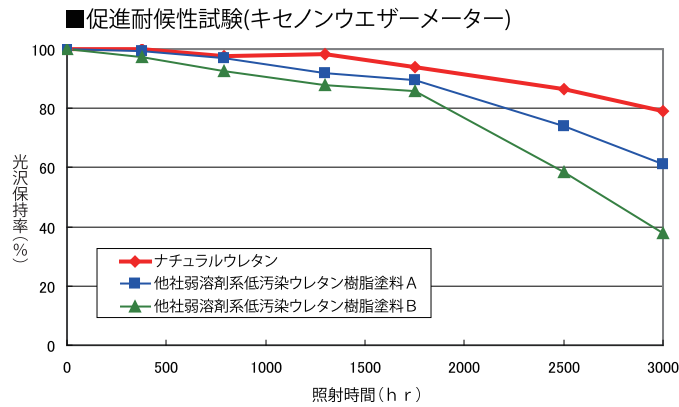
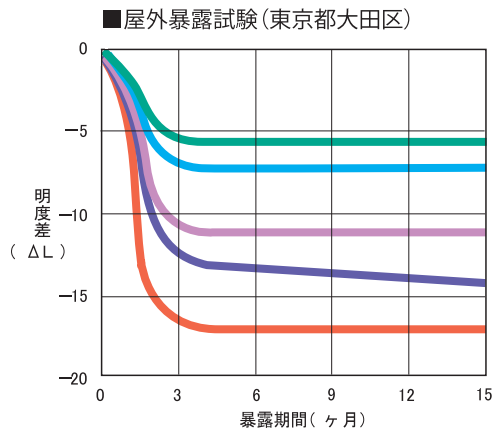
太陽光や雨などの劣化要因に強いセラミック変性したウレタン樹脂が酸性雨や紫外線・熱に対して優れた抵抗力を発揮します。

透湿性

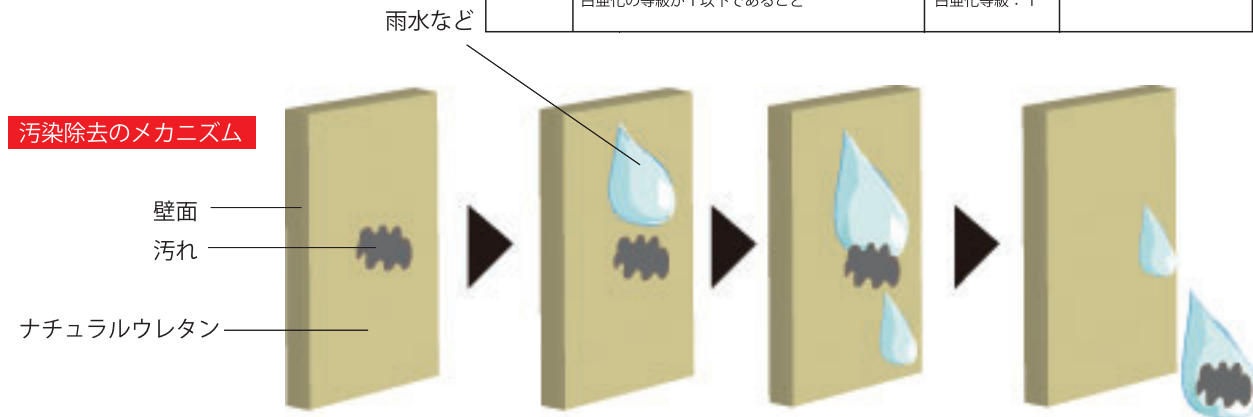
水蒸気を通し水分を通さない塗膜がふくれや室内の結露を防止します。

低臭性

溶剤系(強溶剤)塗料に比べ臭気が少なく作業環境の改善に役立ちます。



| 試験項目 | 品質基準(耐候形1種) | 結果 | 試験方法 |
|-------|--|---|----------------------------------|
| 耐候性B法 | 照射時間 2500 時間で、塗膜に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率 80%以上で、変色の程度がグレースケール 3号以上であり、白亜化の等級が 1 以下であること | 外観異常なし 光沢保持率：81 グレースケール：4-5号 白亜化等級：1 | JIS A 6909：2014.7.19 ※アクリル系下地 |



■ 標準仕様 一般外壁：新規・改装下地

| 工程 | 材料 | 調合割合 | 所要量 | 塗回数 | 間隔時間 | | 施工用具 |
|----|-----------------|--|--|-----|---------------|-----|------------------------|
| | | | | | 工程内 | 工程間 | |
| 1 | 新規 | 下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エフロは完全に除去し、含水率 10%以下 (pH 10以下) に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどは、ダイヤカチオンフィラー、ダイヤセメントフィラー、またはセメンシヤス # 2000 等で平滑に補修して下さい。 | | | | | |
| | 改修 | 各新規・改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去等を行って下さい。 | | | | | |
| 2 | ダイヤ1液ナチュラルウレタン | 15kg | 0.25~0.35kg/m ² 42~60m ² /缶 | 2 | 3時間以上 | - | 刷毛 中毛ローラー スプレーガン |
| | ダイヤシンナー N | 1~2% 0~1% | | | | | |
| 2 | ダイヤナチュラルウレタン A液 | 12kg | 0.25~0.35kg/m ² 40~56m ² /セット | 2 | 3時間以上 7日以内 | - | 刷毛 中毛ローラー エアレス |
| | ダイヤシンナー N | 2kg 1~2% 0~1% | | | | | |

※1 間隔時間は、温度 23℃、湿度 50% の場合です。冬期、夏期では、温度、湿度によって間隔時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。
 ※2 所要量は、下地の形状・状態により変動します。
 ※3 下地が押し成型板、GRC 板等は下塗材としてダイヤガンシーラー、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。
 ※4 ALC 面にはダイヤアクリルフィラー又はダイヤカチオンフィラーで下地調整を行って下さい。
 ※5 改装下地のクラック充填処理をする場合は下塗材としてダイヤアクリルフィラーをご使用下さい。
 ※6 旧塗膜がアクリルシリコン樹脂塗料又はフッ素樹脂塗料の場合はダイヤセランプライマー-S又はダイヤメンテプライマー-TNを下塗材としてご使用下さい。

■ 一般外壁：改修仕様(ひび割れ充填仕様)

| 工程 | 材料 | 調合割合 | 所要量 | 塗回数 | 間隔時間 | | 施工用具 |
|-----------|-----------------|--|--|-----|---------------|-----------------|----------------------|
| | | | | | 工程内 | 工程間 | |
| 1 | 下地調整 | 各改装工事仕様に基づいて、劣化部のケレン、補修、汚れの除去等を行って下さい。 | | | | | |
| 2 | ダイヤアクリルフィラー ※ | 16 kg | 0.3~0.5kg/m ² 0.8~1.0kg/m ² | 1 | - | 5時間以上 16時間以上 | 左参照 |
| | 中毛ローラー | 1.0~1.3% | | | | | |
| 2 | 清水 | 多孔隙ローラー | 0.5~0.8% | 1 | - | 16時間以上 | |
| | ダイヤ1液ナチュラルウレタン | 15kg | 0.25~0.35kg/m ² 42~60m ² /缶 | 2 | 3時間以上 7日以内 | - | 刷毛 中毛ローラー エアレス |
| ダイヤシンナー N | 1~2% 0~1% | | | | | | |
| 3 | ダイヤナチュラルウレタン A液 | 12kg | 0.25~0.35kg/m ² 40~56m ² /セット | 2 | 3時間以上 7日以内 | - | 刷毛 中毛ローラー エアレス |
| | ダイヤシンナー N | 2kg 1~2% 0~1% | | | | | |

※シリコンエポキシ樹脂を使用した「ダイヤアクリルエポ」もご使用いただけます。
 ※ダイヤアクリルフィラーの塗膜が薄い場合、旧塗膜の種類によっては仕上材のリフティングの現象(縮み)が発生する事があります。特に溶剤・弱溶剤の上塗りを使用する際、ダイヤアクリルフィラーを中毛ローラーで施工する場合は2回塗(塗布量:0.6kg/m²以上)を推奨します。

■ 鉄部：新規・改装下地

| 工程 | 材料 | 調合割合 | 所要量 | 塗回数 | 間隔時間 | | 施工用具 |
|-----------|----------------------|---|--|-----|---------------|---------------|----------------------|
| | | | | | 工程内 | 工程間 | |
| 1 | 下地調整 | 塗装下地のゴミ、汚れ、油脂類などを取り除いて下さい。旧塗膜の活膜を残して、劣化膜やさびをワイヤーブラシ、サンドペーパー等による手ケレンや電動工具により十分にケレン除去し、清掃します。鉄部が露出した箇所や溶接部はダイヤヒスイエボサビ # 100、又はダイヤヒスイエボサビ # 200A で拾い塗りして下さい。 | | | | | |
| 2 | ダイヤヒスイエボサビ # 100 | 15kg | 0.14~0.16kg/m ² 94~107m ² /缶 | 1 | - | 4時間以上 | 刷毛 中毛ローラー |
| | ダイヤシンナー N | 0~6% | | | | | |
| 2 | ダイヤヒスイエボサビ # 200A A液 | 14.4kg | 約0.16kg/m ² 約100m ² /セット | 1 | - | 4時間以上 7日以内 | 刷毛 中毛ローラー |
| | ダイヤヒスイエボサビ # 200A B液 | 1.6kg | | | | | |
| 2 | ダイヤシンナー N | 0~2% | | | | | |
| | ダイヤ1液ナチュラルウレタン | 15kg | 0.25~0.35kg/m ² 42~60m ² /缶 | 2 | 3時間以上 | - | 刷毛 中毛ローラー エアレス |
| ダイヤシンナー N | 1~2% 0~1% | | | | | | |
| 3 | ダイヤナチュラルウレタン A液 | 12kg | 0.25~0.35kg/m ² 40~56m ² /セット | 2 | 3時間以上 7日以内 | - | 刷毛 中毛ローラー エアレス |
| | ダイヤシンナー N | 2kg 1~2% 0~1% | | | | | |

※下地がアルミ、ステンレス(SUS 304以外)の場合にはダイヤハイエボプライマーをご使用下さい。
 ※ダイヤヒスイエボサビ # 100、ダイヤヒスイエボサビ # 200A の塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合は点錆が発生する恐れがあります。
 ※ダイヤナチュラルウレタンの場合はダイヤヒスイエボサビ # 200A、ダイヤ1液ナチュラルウレタンの場合はダイヤヒスイエボサビ # 100 を推奨します。